

【ねがいましては】

平成11年 6月25日

第116号

KYOWA SCHOOL

「座ぶとんさん」

もう2年ほど前になりますが、福井県の武生市へ行ったときのことです。帰り道、ふと、ある地酒家さんへ立ち寄りました。店に入ると、大きな金属製の酒釜とでも言うのでしょうか、どかんと置いてあり、何よりいいなと思ったのは、その店の店主の方が、酒ビンに好きな名をつけてレッテルをつけてくださること、わたしは少し考えて、「座ぶとんのような酒」と書いてください。とたのみました。「座ぶとんのような」というのは、相田みつをさんの「にんげんだもの」の中にある詩のひとこまです。

おてんとうさまの ひかりを いっぱいに吸った

あったかい 座ぶとんのような人

というのが原文です。

わたしは、この詩にふれるたび、いつもこうありたいなーと思います。もちろん日々変化する心、体調など、継続させるのはむずかしいです。いいこと、悪いこと、毎日が変化の連続ですから。

実は子供達の中にも、こいつ大きくなったら「座ぶとんになるかもしれん」などと思わせる子もたくさんいます。………… 助けられます。救われます。その子らにすべて共通しているのが、「笑顔」「欲のない素直さ」です。

わたしがいつも思うこと、「しからずにいられたら、どんなにいいだろう。」その子の中に潜んでいる「自分だけが・・」とか、「あいつは蹴落としてやる」などの「自分だけがの欲」が見えると、鬼退治ではありませんが、「鬼はそとー」といったぐあいにしかります。出てけ一出てけ一、うそつき鬼出てけ一、自分が鬼、出てけ一、です。

でも、結局あとで、なんともいえぬ後味の悪いモヤーが残ります。また、しかつてしまつた一。

で、座ぶとんさんなら、どうするだろう。にこーっと笑うと、そーっと鬼君が出ていったなんて、いいなと思うのですが・・そんな魔法をいただきたいものです。

この教室の中にも、「座ぶとんさん」のような子がけっこういます。わたしにとっての「座ぶとんさん」は、まじめくん・まじめさんです。彼らは皆、笑顔がグー！

また今日も、あのまじめくん、まじめさんに会えますよー、いつもどうもありがとうございます。

先日も、ある子が、ボランティアに興味があるとのこと、介護の仕事がしてみたいとのこと、・・もう「人のために」がしっかり宿っているんですね。そんな君は、もうりっぱな「座ぶとんさん」になっています。これからもこつこつと地味ですが歩いてください。

おとうさん、あかあさん、お子さんは、いつもいつも、きっと、目に前にいるお父さんお母さんを、「座ぶとんのような人」で見てています。？・・？・・

あー、きょうも良いお天気、・・・・・ 座ぶとんほそー。

7月の予定

3日（土） 珠算・暗算 検定試験申し込みしめきり

17日（土） 珠算・暗算 検定試験 ・・・ KYOWA SCHOOL

* 今回の検定より、珠算1級まで 当教室で受験できるようになりました。

* 夏の予定、夏季講習の予定は、別紙お知らせいたします。

* キャンプ受け付け中です。今年は、のーんびり がいいかな、お友達参加 OK!

* みなさん、たよりにしてます。いろいろお手伝い、お願ひします。